

失敗したくないですか？

毎朝のニュースでもその活躍が伝えられていますから、野球選手「大谷翔平」を知らない人は多くないでしょう。1918年のベーブ・ルース以来、二桁勝利&二桁本塁打という記録を達成し、2021年にはメジャーリーグでMVPに選ばれています。そんな大谷選手が登場するCMで印象に残ったナレーションがありました。

「三振した数 928、打たれたヒットの数 647・・・試合に負けて泣いた数 秘密、二刀流が無理だと言われた回数 ∞（数えきれないほどという意味）、二刀流が無理だと思った回数 0」

誰もが認める偉業を達成し続ける大谷選手でも、たくさんの失敗をしてきたことがわかります。

実は大谷選手に限らず、活躍してきた、活躍している人たちの、その華やかな成功の裏には、数えきれないほどの失敗経験が存在しています。失敗が多い人ほど、それを乗り越えて手に入れたものが大きいとも言えます。

さて、みなさんはどうですか？小さな失敗を積み重ねていますか。取り返しのつかない大きな失敗をするような無謀な挑戦を勧めているわけではありません。例えば、「授業で発言をしてみる」「自分から学級の仲間に声をかけてみる」など、日常の中でも小さな挑戦の機会はたくさんあります。

失敗を恐れずに挑戦してほしいと思います。（山田 有紀）



🌻 定期テスト②をふり返って 🤔

1学期の定期テストがすべて終わりました。今学期に定期テストはもうありませんが、日々の授業は進み続けていきます。1学期に行った2回の定期テストをふり返り、学習の仕方や学習時間、授業での取り組み、理解度など様々ふり返ってみましょう。

2年生の皆さんは、まだまだやれることがたくさんあるはずですよ。得意なものは、もっと伸びるように、苦手なものは少しでもわかるように、できるように、残りの1か月を、そして長い夏休みの時間を有効に使っていきましょう。



🌻 三者懇談会をよろしくお願いいたします 🍉

7/11（火）～15（火）の5日間で三者懇談会を行います。一家庭15分程度の短い時間ではありますが、1学期のふり返りを中心に、学校生活や家庭生活の成果や課題をお話できればと思います。ご家庭での心配事などありましたら、是非この機会に担任までお話しください。

懇談期間の1週間は、4時間授業、昼食なしで下校します。順番が早い生徒は弁当を持参し、学校で保護者の方が来るまで待機することもできますので、ご家庭で話し合ってください。

控室は2年1組の隣の第2多目的室をご利用ください。



🌻 修学旅行の積み立てお申し込みのお願い 🌻

6月号でもお伝えいたしましたが、来年度修学旅行に向けての積み立てが8月から開始します。お知らせをお配りしましたので、忘れずにお申し込みをお願いいたします。一括プランもあります。

🌻 1学期終業式について 📣

7/20（木）は、2時間授業です。終業式と学活終了後に下校予定です。

作文紹介 体育大会を終えて

今年度も陸上の本格的施設「パロマ瑞穂北陸上競技場」での体育大会開催でした。

不安定な天候のため一日順延されましたが、開催当日は日差しの降り注ぐ快晴となりました。

ひとりひとり自分の種目に全力で取り組んだり、大きな声援を送ったりする姿、係生徒として機敏に動いて活躍する姿がたくさん見られ、感動的な行事となりました。

僕は、代わりとして障害物リレーに出場しました。あまり練習していなかったのが不安でしたが、うまくいきました。玉入れの時はなかなか入らなかったのですが、入れた時に、みんなの「おー！」という声に、僕は気持ちが高まりました。そして最後の球を入れてゴールしました。3位という結果が残せたので大満足です。

そして全員リレーでは、練習通り、ぶっちぎりの1位でした。みんなの「頑張れ！」とか「行け行け！」などという声がいっぱい聞こえたので、うれしかったです。

今回の体育大会で、応援する心や、全力になる気持ちなど、いろいろ学びがありました。 (1組)

自分の競技を待っていると、係の生徒たちが暑い中で、バトンやピブス、競技に出る人たちを並べているところが見えた。僕は、この人たちのおかげで体育大会ができているんだと思い、自分の競技もがんばろうと思った。自分は、席に戻っても、声をあげて友だちが走っているのを応援していた。

(2組)



体育大会で私が一番心に残っていること、それは最後に行われる全員リレーです。なぜなら、クラス全員がひとつになって「勝つ」という目標に向かって全力で走ることで団結力を感じることができるからです。応援の声も他の競技とは違い、全力でまとまりを感じることができます。本番当日、私はバトンパスが上手くいくかな…と不安な気持ちでいっぱいでした。多分それはクラスのみんなも思っていたと思います。そんな不安の中、全員が自分のベストを尽くし切るとは簡単なことではないと思います。結果は5位で、満足できないという人も多いかもしれませんが、私は、私たち3組なりの良い走りが出てきたな、最後まで諦めずにやり切れたな、という満足感であふれていました。諦めなければ、いつかきっと良い結果が返ってくると思います。 (3組)

私は朝、北陸上競技場まで歩いているとき、1年生の「絶対勝ちたいから、声枯れるまで応援しよ！」と言っているのを聞き、とても共感した。いくら足の速い子や運動の得意な子がいても、クラスの仲間の応援がなければ勝てないと。だから、いくら声が枯れても、とにかく応援しようと思った。

迎えた本番。100m走から始まった。私はすぐさま選手名簿を見て、知り合いの子や部活の後輩がいないか確認した。後輩の名前が書いてあった。『これは応援しなければ！』と思い、始まった瞬間、「頑張れ！」「行けるよ！」と応援した。残念ながら1位にはなれなかったみたいだが、よく頑張ったと思った。

とうとう自分の種目の番が来た。リレーで私は1番目だ。上位のまま次の子にバトンを渡せるか不安だったから、かなり緊張していたと思う。スターティングブロックを準備して待っていたとき、ふと前を見ると、係生徒の先輩2人と目が合った。先輩は口パクで「行けるよ。」とグーサインをしてくれた。私は嬉しかったし、安心した。応援してくれている先輩の気持ちを胸にスタートを切った。(6組)